

## F-35 Lightning II プログラムの現状

### プログラムの現状

- 2012 年に実施した飛行試験の状況は以下のとおりです(2012 年 10 月 31 日現在):
  - F-35A 通常離着陸(CTOL)型機は通算 437 回の飛行を終えています。
  - F-35B 短距離離陸垂直着陸(STOVL)型機は通算 352 回の飛行を終えています。
  - F-35C 艦載(CV)型機は通算 222 回の飛行を終えています。
- 2006 年 12 月以来、F-35 型機は 3,253 回の飛行を行い、累計飛行時間は 5,117 時間を超えています。これには最初の試験機の AA-1 型機による 91 回の飛行、SDD に基づく 2,439 回の飛行、および量産機による 723 回の飛行が含まれています。F-35 プログラムのビデオハイライトはこちらをご覧ください。
- 10 月 4 日、BF-17 機がパタクセントリバー海軍航空基地へフェリー移送され、11 月 1 日に初の SDD 試験飛行を行いました。
- 10 月 11 日、F-35C 艦載(CV)型機がこれまでに行った飛行回数が 400 回に到達しました。
- 10 月 16 日、F-35A 通常離着陸(CTOL)型機は、初の飛行中の 2,000 ポンド誘導爆弾(JDAM) GBU-31 BLU-109 投下試験を実施しました。
- 10 月 19 日、BK-2 機と BF-16 機がフロリダ州エグリン空軍基地へフェリー移送されました。
- 10 月 19 日、F-35A 通常離着陸型機の飛行試験機は、初の飛行中の先進中距離空対空ミサイル AIM-120 AMRAAM 発射試験を実施しました。
- 10 月 20 日、AF-4 機は初のタキシング走行でのスピン回復シュート(SRC)展開試験を実施しました。SRC を装着した F-35 機の初飛行は 10 月 24 日に実施され、10 月 29 日には迎え角 26~30 度での初の高迎角ミッションを実施しました。
- 10 月 17 日、AF-7 機は初の飛行中での F-35 地上・空中用単一チャンネル無線システム(SINCGARS)試験を実施しました。
- 10 月ひと月の間に、10 月 19 日と 10 月 23 日の両日、F-35 の 1 日の飛行実施回数が 19 回という記録を達成しました。
- 10 月 25 日、SDD フリーの総飛行回数が 1,000 回に到達しました。
- 10 月 23 日、F-35 フリー(AA-1 機、SDD 機、LRIP 機を含む)全体の飛行時間が 5,000 時間に到達しました。
- 11 月 2 日、エグリン基地では 500 回目の出撃訓練を実施しました。
- 11 月 5 日、BF-18 機が 11 月 6 日にパタクセントリバー海軍航空基地へ移送される途中、ジョージア州マリエッタ工場に立ち寄りしました。

### F-35 型機フリーの状況

#### F-35 納入

- 38 機の F-35 が米国国防総省に納入されています。
  - ・12 機は、システム開発・実証機(SDD)です。
  - ・26 機は、初期量産機(LRIP)であり、そのうち 2 機は米国外向けとなります。

#### システム開発・実証(SDD)機フリー

- SDD機フリーは 14 機のF-35 型機から構成されています。このうち 6 機のF-35A 型機はカリフォルニア州エドワーズ空軍基地、また、5 機のF-35B 型機は 3 機のF-35C 型機と共にメリーランド州パタクセン

トリバー海軍航空基地に配属されています。

### **初期量産(LRIP)機**

- 22機がフロリダ州エグリン空軍基地に配属されています。
- 2機がメリーランド州パタクセントリバー海軍航空基地に配属されています。
- 2機がカリフォルニア州エドワーズ空軍基地に配属されています。
- 10機はテキサス州フォートワースのF-35製造工場においてチェックアウト飛行を行っています。

### **調達予算**

- 初期量産(LRIP)ロット5について長納期部品に対する予算が承認され、2011年12月9日には米国防総省との間でUCA (Un definitized Contract Action) が締結されました。(約30機)
- LRIPロット4については全額の予算が承認されました(31機、オプションでオランダ向けF-35A型機1機)
- LRIPロット3については全額の予算が承認されました(17機)
- LRIPロット2については全額の予算が承認されました(12機)
- LRIPロット1については全額の予算が承認されました(2機)

### **米国及びパートナー国の調達予定機数**

- 米国空軍 1,763
- 米国海軍 260
- 米国海兵隊 F-35C型機 80機/F-35B型機 340機
- 英国空軍/海軍 138
- イタリア 90
- オランダ 85
- トルコ 100
- オーストラリア 100
- ノルウェー 52
- デンマーク 30
- カナダ 65

### **決定事項**

- 8月28日、ロッキード・マーティン・エアロノティクスは、イスラエル向けSDDプログラムフェーズ1開始のため、USD206,821,828相当の契約を受注しました。これは以前に受注した実費精算契約を修正したものです。
- 6月29日、日本はF-35A CTOL機の初回調達分4機と訓練シミュレータについて、正式発注文書に調印しました。(2012年6月)
- 6月14日、ノルウェー議会はノルウェーのF-35プログラムへの全面参画を承認しました。この決定により、同国のコミットメントは2011年に承認された4機の訓練機契約から、調達予定全52機へと引き上げられました。なお、この決定は今後も年度ごとの議会承認が条件となります。(2012年6月)
- トルコ国防産業執行委員会は低レート初期量産ロット7において製造されるF-35を2機調達することを承認しました。(2012年1月)
- 日本の防衛省はF-X競争入札を経てF-35 Lightning IIを航空自衛隊の次世代戦闘機に選定したと発表しました。ロッキード・マーティンの支援を受けた米国政府によってF-35A通常離着陸(CTOVL)型が提案

されていました。初回契約では、4月1日から始まる2012年度において4機が調達されます。(2011年12月)

- ノルウェー議会は、ノルウェーの将来的な対空戦闘能力の充実を図るため、トレーニング用のF-35 Lightning II 戦闘機4機への資金拠出を全会一致で承認しました。(2011年6月)
- オランダ議会はSDDの試験および評価フェーズに含めるため、2機目の同国F-35 試験機の調達を決定および合意しました。(2011年4月)

### F-35の仕様

	F-35A CTOL	F-35B STOVL	F-35C CV
全長	51.4フィート/15.7 m	51.2フィート/15.6 m	51.5フィート/15.7 m
全高	14.4フィート/4.38 m	14.3フィート/4.36 m	14.7フィート/4.48 m
全幅	35フィート/10.7 m	35フィート/10.7 m	43フィート/13.1 m
主翼面積	460 平方フィート / 42.7 m <sup>2</sup>	460 平方フィート / 42.7 m <sup>2</sup>	668 平方フィート / 62.1 m <sup>2</sup>
水平尾翼幅	22.5 フィート / 6.86 m	21.8 フィート/6.65 m	26.3 フィート/8.02 m
自重	29,300 lb	32,300 lb	34,800 lb
機内燃料積載量	18,250 lb / 8,278 kg	13,500lb / 6,125 kg	19,750 lb / 8,960 kg
兵装積載量	18,000 lb / 8,160 kg	15,000 lb / 6,800 kg	18,000 lb / 8,160 kg
標準機内兵装	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 25 mm GAU-22/A 機関砲</li> <li>● AIM-120C 空対空ミサイル 2 発</li> <li>● 2,000 ポンド GBU-31 JDAM 誘導爆弾 2 発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AIM-120C 空対空ミサイル 2 発</li> <li>● 1,000 ポンド GBU-32 JDAM 誘導爆弾 2 発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AIM-120C 空対空ミサイル 2 発</li> <li>● 2,000 ポンド GBU-31 JDAM 誘導爆弾 2 発</li> </ul>
最大離陸重量	70,000 lb クラス	60,000 lb クラス	70,000 lb クラス
エンジン*	F135-PW-100 40,000 ポンド(最大) 25,000 ポンド(ミラタリー) N/A(垂直)	F135-PW-600 38,000 ポンド(最大) 26,000 ポンド(ミラタリー) 40,500 ポンド(垂直)	F135-PW-100 40,000 ポンド(最大) 25,000 ポンド(ミラタリー) N/A(垂直)
最大速度(機内フル兵装時)	マッハ 1.6(~1,200 mph)	マッハ 1.6(~1,200 mph)	マッハ 1.6(~1,200 mph)
戦闘行動半径(機内燃料のみの場合)	>590 nm / 1,093 km	>450 nm / 833 km	>600 nm / 1,100 km
航続距離(機内燃料のみの場合)	>1,200 nm / 2,200 km	>900 nm / 1,667 km	>1,200 nm / 2,200 km
荷重制限	9.0	7.0	7.5

\*最大推力=アフターバーナー使用、ミラタリー=アフターバーナー不使用、垂直=アフターバーナー不使用

2012年11月5日現在  
作成: Lockheed Martin F-35 Communications Team